

タイトル: シングルPCR における反応特異性の上昇

カテゴリ: PCR

キーワード: Multiplex PCR Assay Kit、Multiplex PCR、マルチプレックスPCR

データソース: タカラバイオ株式会社

方法:

ラン藻ゲノムDNA およびヒトゲノムDNAを鋳型とし、反応特異性の低いプライマー対による増幅を、*TaKaRa Ex Taq*[®] Hot Start Version (製品コード [RR006A](#))ならびにMultiplex PCR Assay Kit Kit (製品コード [RR060A](#))を用いて比較した(増幅サイズ:ラン藻ゲノムDNA 400 bp、ヒトゲノムDNA250 bp および650 bp)。反応系は25 µlとし、鋳型としてラン藻ゲノムDNA は5 ng、ヒトゲノムDNA は25 ngを使用した。プライマーはそれぞれ最終濃度0.1 µMで使用した。

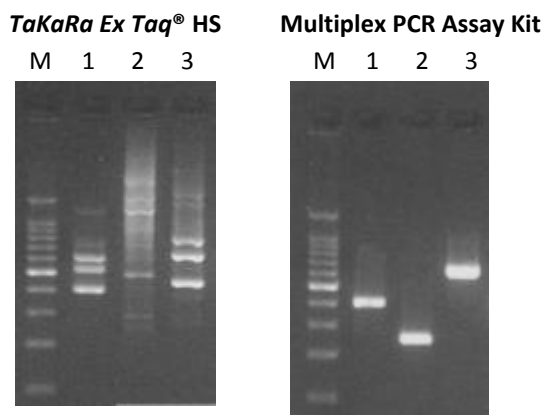
反応条件は右の通り。

94°C 1分
94°C 30秒
55°C 30秒
72°C 2分

35cycles

結果:

TaKaRa Ex Taq[®] HS ではプライマー特性によりエキストラバンドやスメアが多く認められる反応も、Multiplex PCR Assay Kit を用いることで、それらのエキストラバンドやスメアが劇的に減少し、目的産物が特異的に増幅していることが確認できた。



使用ゲル: 2% NuSieve[®] 3 : 1 Agarose (製品コード [F5180A](#))

サンプルアプライ量: 反応液3 µl

TaKaRa PCR Thermal Cycler Dice[®]使用

M: 100 bp DNA Ladder (製品コード [3422A](#))

1 : ラン藻ゲノムDNA 400 bp

2 : ヒトゲノムDNA 250 bp

3 : ヒトゲノムDNA 650 bp

備考: